

特集 / 多世代交流のススメ

モチがとりもつ イイ関係

えんがわくらぶと東小3年生の9か月



ふるさと古賀の情報ぎゅっしり。

広報こが

PUBLIC RELATIONS

**Ko
ga**

2009.1.10 January No.624

2009

1

あけまして
おめでとう
ございます

隆象
書／中村隆象

古賀市の個性を創ろう

昨年はサブプライムローン問題に端を発する世界的金融不安が、国民の生活にも深刻な影響を及ぼしました。この苦しい状況は当面続くと思われませんが、こういうときこそ今まで培ってきた地域の力を発揮して、耐え抜かなければなりません。

また、第三次行財政改革も今年からいよいよ後半戦です。困難な状況を克服して、せひとも初期の目的を達成したいと、決意を新たにしているところです。

そして、我々はその後に来る古賀市の将来像を考えたいと思います。

このような状況の中にあればこそ、更なるにぎわいと発展を目指すとともに、市民憲章にも謳われているように、名実共に榮譽ある古賀市にするため、古賀市の個性や誇りを創造することこそが、明日の古賀市を切り拓く道であると信じています。

そこで本年のテーマは、「にぎわいと個性あふれるまちづくり」としました。今年も皆さんとともに力強く歩んで参りたいと思います。皆さんのご多幸をお祈りしております。

古賀市長 中村 隆象



「何よりも健康が一番」と、古賀海岸をウォーキングする中村隆象市長。古賀市内には6か所のウォーキング道路「歩いてん道」がある。今年1月には延内・久保区内に新たな歩いてん道が誕生する予定。

特集／多世代交流のススメ

「モチ」がとりもつ 「イイ」関係

えんがわくらぶと東小3年生の9か月

古賀東小学校の端っこに、えんがわくらぶがある。休み時間になると、子どもたちが駆けてきて、おじいちゃんやおばあちゃんと遊ぶ。

子どもたちは、この時間を楽しみに行っている。いろいろな遊びを覚えてくれるし、話をゆつくりと聞いてもらえるからだ。高齢者も、子どもたちがたまらなく好きで、いっしょにいるだけで元気になれるという。

12月の校庭に、香ばしい煙と歓声が立ち込めた。この日、昔の暮らしを知る授業で「七輪火起こし体験」を行い、子どもたちに内緒で用意された餅が配られたからだ。マッチを摺ったこともない子どももいる中、七輪で餅を焼いた経験がある子などほとんどいない。

「なぜ、こんなに美味しいの？」という子どもたちの無邪気な質問に、「それはね…」と高齢者たちは目を細めて丁寧に答えている。

この光景はまるで家族のもののように。なぜ、これほどの信頼感を育てられたのだろう。その秘密に迫ろうと、えんがわくらぶと東小3年生の出会いから9か月間を追跡取材した。



①「膨れてきたー！」笑顔がはじける ②「火が燃えるしくみはね…」理科の時間に早変わり ③料理のコツは「強火の遠火」 ④おいしくて何個でも食べられる ⑤炭火の暖かな輝き ⑥見て見て、こんなに伸びる

【今月の表紙】

古賀東小学校3年生とえんがわくらぶの皆さんが、七輪の火起こし体験をしました。「七輪で焼いたお餅はおいしい」と、みんな笑顔いっぱい。
(3ページから関連記事)



1月号もくじ◎CONTENTS

巻頭特集／年始あいさつ	2
特集／多世代交流のススメ	3
街角スナップ・お誕生日おめでとう	8
MY LIFE・歴史資料館だより	10
図書館だより	11
インフォメーション	12
生活情報・これでいいのか・点描	14
アダプトプログラム始まる	16

えんがわくらぶに 寄せる想い

平成13年4月、古賀東小学校の旧用務員室を利用して「えんがわくらぶ」がスタートした。目的は、高齢者の介護予防。「要介護にならずに住み慣れた地域で元気に過ごしたい」という、高齢者が誰しも願うことを実現するための拠点として作られた。場所を小学校敷地内に決めたのは、子どもたちの元気な姿を身近に感じることが、やる気に大きく影響するだろうと考えられたからだ。

古賀東小学校側も、この考えに賛成だった。核家族化が進み多世代同居が少なくなる中、子どもが高齢者と会話する機会が失われつつある。「目上の人と話をするとき、言葉の使い方や表現方法を子どもなりに一生懸命考えます。これが、思いやりの心だと思いのです(岸川校長)」と、世代間交流に寄せる期待は大きい。

古賀東小学校は、今年から世代間交流を3年生の授業カリキュラムとして正式に組み入れた。子どもの成長過程において、重要な役割を果たすと判断したからだ。

4月、 緊張の出会い

平成20年4月、えんがわくらぶ第8期生16人の活動が始まった。うち2人が初入会。それぞれの期待

を胸に入会を決めたとはいえ、見ず知らずの子どもと初めて言葉を交わすのはどうしても緊張する。長年生きてきた会社生活の癖が抜けず、肩ひじ張ってしまうこともあるようだ。

3年生の子どもたちも同様で、えんがわくらぶの皆さんを親しみを込めて「えんがわさん」と呼ぶほど、入学したときからえんがわくらぶは身近な存在だが、初対面の人もおり、硬さが取れるには時間ときっかけが必要だった。

そんな中、初めての共同活動「お花をどうぞ」が始まった。

「お花をどうぞ」は、市内の一人暮らし高齢者の自宅に鉢植えの花を届けるもの。花は苗の状態から、えんがわくらぶと子どもたちが協力して育てることにしている。最初の作業は、苗をポットから鉢に移す作業だった。

「この玉石を底に置いてね…」「え、どうして?」「水はけを良くしないと、根っこが腐るからだよ」「きれいな花が咲くといいなあ」

作業が始まると、自然に会話が生まれる。子どもたちは、高齢者の知識の豊かさに驚き、高齢者は子どもと同じ視線で物事を楽しむことを思い出す。こうしたことの一つ一つが、お互いの緊張をゆっくりと溶かしていく。



西田智美先生(3年2組担任)

学校の敷地内にえんがわくらぶの建物があるため、子どもたちは休み時間に遊びに行けます。身近にいるおじちゃんおばあちゃんとして、心のよりどころになっているように思えます。昔の遊びや暮らしの話を聞く機会には、高齢者が持つ豊かな知識にいつも驚いているようです。



③・④・⑥「お花をどうぞ」の道順を確認するえんがわくらぶと児童たち。⑤指導を受けながら花苗の植え替え。⑦花といっしょに作文をプレゼント。思わずニコリ。⑧花を届ける道すがらはお散歩気分。



岸川明生校長(古賀東小学校)

保護者の皆さん、子どもたちがいきいきと会話しているところをぜひ見てください。子どものペースで、子どもの視線に合わせた会話をすると、子どもたちの本当の気持ちが理解できます。えんがわくらぶの皆さんは、そのたいせつな条件を理解していただいているようです。



奮つる史朗さん(えんがわくらぶ)

私は登山や写真が好きで活動的な性格ですが、地域社会と関わることには苦手意識を持っていました。しかし、えんがわくらぶでさまざまなつながりができ、寺子屋などの地域イベントにも参加するきっかけをもらえました。



えんがわくらぶ

正式名称は、古賀市高齢者生きがいづくり支援センター。平成13年4月開設。シニアルネッサンス財団が受託運営している。

世代間交流のほか、パソコン・園芸・料理など多彩な教室活動も積極的に行う。卒業後は、くらぶで培った人間関係などを基に、地域活動に精を出す人も多い。活動は毎週2回(火・木曜日)、10時～15時。



①4月、第8期生の開講式。初対面とあってまだまだ表情が硬い。②12月、真剣な面持ちで門松づくりに取り組むえんがわくらぶ。それぞれが得意分野で助け合う光景も見られた。

「えんがわさん」は「すごい！」

昔遊び体験では、独楽回しや羽根突き、フラフープに缶ポックリやお手玉など体を使った遊びを子どもたちが体験する。指導はえんがわくらぶが行う。なかなかうまくいかない技を、いとも簡単に実演してみせると、「すごい」という賞賛の声があちらこちらで上がる。子どもたちの輝く眼差しは、憧れのスター選手を見るものようだ。

もっと教えてもらおうと休み時間にえんがわくらぶを訪れると、子どもたちは意外な光景に出会う。それは、高齢者がパソコンや郷土の歴史などを熱心に学習している姿だ。

「なぜ、えんがわさんたちはテストもないのに勉強するのだろう」と疑問がわく。しかし、知りたいことを学ぶことは「楽しさ」なのだ気づくと、子どもたちの気持ちは「尊敬」に変わっていくのだ。

子どもが目上の人を心から敬う。このことは、しゃべり方や態度にも表れる。きちんと挨拶ができるようになり、丁寧な言葉でしゃべるようになる。叱られても、素直に聞けるようになる。コミュニケーションによる信頼感と、立派な背中を見て感じる尊敬の念が、子どもたちの感性に大きく影響するのだ。

もちろん、高齢者の側が知識を探索したり地域活動に精を出したりすることは、それ自体を「楽しい」と感じられるからだ。このことが孫のようにかわいらしい子どもたちに変化を与えたとすれば、なおさら幸福な達成感を感じずにいられない。

「授業」から「日常」へ

えんがわくらぶに集う子どもたちの表情は柔らかい。先生も「教室では見せない顔をする」と、舌を巻く。これはどういうことなのか、聞いてみた。

「子どもの一番身近にいる大人（＝親）は、とても忙しい時間の中で生きています。しかし、子どもはゆつくり話をしたがる。自分だけを見てくれる時間を作って欲しいのです。高齢者ならそれができる。時間のペースがびったり合う良きパートナーなのです」と、えんがわくらぶの山川代表は言う。

12月、校庭には子どもたちの歓声と高齢者の快活な笑い声が響いていた。4月に見られた硬さはもうない。まるで家族が戯れるような光景が広がっている。「授業」としてはじめられた交流は、9か月の熟成期間を経てその枠を飛び出し、双方にとってなくてはならない「日常」へと変化していた。

えんがわくらぶ参加者募集

子どもたちとの昔遊び、パソコンや趣味活動などを通じて仲間づくりや生きがいづくりを行う「えんがわくらぶ」の平成21年度参加者を募集します。

- 対象 おおむね60歳以上の市民
- 定員 15人(定員になり次第締め切ります)
- 費用 1回 200円
(別途、材料費などの実費負担あり)
- 期間 平成21年4月～平成22年3月
(1年間)
- 活動 毎週2回(火・木曜日)
10時～15時
- 場所 えんがわくらぶ
(古賀東小学校敷地内)

申し込み・問い合わせ先
高齢者福祉課 ☎942局1144番



【児童の声】 「えんがわさんとの交流をもっと続けたいです」「いろいろと教えてもらって楽しかった」「昔の話が聞けてうれしかった」など、子どもたちの気持ちがいっぱい詰まった感想文。はすむような文字が、驚きや楽しさを物語っている。

【保護者の声】 テレビゲームなどの屋内遊びしか知らない子どもたちに、昔の遊びや暮らしを教えていただける機会はずっといいことだと思います。ほかの地域にもえんがわくらぶのようなものが伝わると良いですね。地域が元気になるような気がします。



①顔を寄せ合いナイショ話？ ②「できた！」「上手に折れたね」③昔の話に興味津々。④こんなに穏やかな表情になりました。⑤全国的にも活動が注目され、埼玉大学から学生たちが視察に訪れた。⑥・⑦・⑧昔取った杵柄、昔遊びでは大人の方が「ガキ大将」。



井口勢津子さん(えんがわくらぶ)
知り合いの勧めで入会しました。参加してみると、パソコンだけでなく歴史探訪や社会見学など好奇心を満たせる刺激がいっぱいでした。しかし、なんといっても最大の喜びは子どもたちとの触れ合いです。「次回も必ず来よう」というやる気がわいてきます。



森 敏之先生(3年1組担任)
高齢者となじむきっかけになり、地域の人と積極的にあいさつや話ができるようになったようです。また、地域交流を通して、地域をたいせつにしようという気持ちも芽生えたように思います。



古賀市からプロ野球選手誕生

ボーイズリーグ九州古賀出身の西村憲選手(22歳)が、今年のプロ野球ドラフト会議で阪神タイガースに指名され、入団が決定しました。中村市長に入団報告を行い、「小さい頃からプロになるのが夢だった。全球種に自信があるので、早く1軍でがんばりたい」と決意を語ってくれました。活躍を期待します。

プロフィール●西村憲(にしむら・けん) 1986年、福岡県生まれ。福岡工大附城東高出身。本格派右腕として九州産大では通算17勝を挙げ、今秋の福岡6大学リーグの最優秀選手賞に選ばれた。182センチ、80キロ。右投右打。投手。



街角スナップ Machi kado

街角スナップでは読者の皆さんからの投稿をお待ちしています。



赤いじゅうたんを散策



11月29日、時折あられ混じりの冷たい雨が降る中、ボランティア団体「もりもりクラブ」による恒例の“興山園紅葉狩り”が行われました。市内外から約80人の参加があり、ちょうど見ごろを迎えたみごとな紅葉にしばし日常を忘れて感動の時を過ごしました。また、秋の風情とともに楽しむ野点(のだて)も好評でした。興山園で立派な紅葉が見られるのは、日々の手入れをしている3人の庭園士のおかげです。

(文章は「もりもりクラブ」の阿部友子さん、写真は宿理英彦さんからの投稿です)



100人の市民が参加した「第九の夕べ」

12月13日、市中央公民館で第3回古賀市「第九」合唱とオーケストラの夕べが開催されました。市内外の約60人で構成される古賀市民オーケストラの演奏と、古賀市「第九を歌う会」の80人の合唱が会場いっぱいに響き渡り、演奏中しんと静まり返っていた客席は、演奏が終わると同時に会場が割れんばかりの拍手に包まれました。

1番たいせつなのは「自分を信じること」

12月7日、市中央公民館で第33回古賀市人権を尊重する市民の集いが行われました。花見小学校児童によるオペレッタなどのあと、国際的評価も高い盲目のピアニスト梯剛之さんによるピアノコンサートが行われ、息を呑むほどのすばらしい演奏に観客は釘付けになっていました。梯さんは演奏後、会場を訪れた子どもや障害を持つ人たちへ「何にでも挑戦し、自分の力を信じるのがたいせつ。あきらめずに目標に向かってほしい」と、力強くメッセージを贈りました。



●3月生まれの赤ちゃんの写真は、赤ちゃんの氏名に生年月日、住所、保護者氏名、電話番号とメッセージ(40文字以内)を添えて郵送、または持参してください。2月6日(金)必着。掲載は1歳~3歳で、1人1回とします。●問い合わせ・申し込み先【〒811-3192 (住所不要)市役所経営企画課広報係 ☎942局1111番(内線316)】※写真返却希望の場合は、返信用封筒(80円切手を貼ったもの)を同封してください。●古賀市の公式ホームページからも応募できます。



たかど はる
高戸 晴瑠ちゃん
1月1日生 舞の里

2歳のお誕生日おめでとう!心身ともに元気に大きくなってください。



みずまち りん
水町 凛ちゃん
1月2日生 舞の里

凛ちゃんお誕生日おめでとう。毎日、明るい笑顔をお願い!すこやかに元気に育ってね。



たかはし みゆう
高橋 美結ちゃん
1月3日生 葉王寺

1歳のお誕生日おめでとう!美結はパパとママの宝よ。美結の優しい笑顔でみんなを幸せにしてね。いつまでも笑顔の素敵な女性になってください。



よしだ ひと
吉田 一翔ちゃん
1月5日生 天神

一翔くん、お誕生日おめでとう!これからも元気いっぱい笑顔でパパとママを癒してね!!



ながやま あやと
長山 絢翔ちゃん
1月6日生 花見東

お兄ちゃん大好き♡なやんちゃん坊主です。たくさん食べて、たくましく大きくな~れ☆



みやわき ゆうが
宮脇 悠河ちゃん
1月10日生 日吉

パパとママの大好きなゆうが君。元気に大きくなってね。



うえだ だいち
上田 大地ちゃん
1月13日生 花見東

お返事が上手で、いつもここにこだいちゃん。これからもお兄ちゃんと仲良く、笑顔いっぱいいてね。



いぬやま しんぺい
犬山 慎平ちゃん
1月13日生 天神

お誕生日おめでとう。いつもニコニコ顔の元気いっぱいの慎ちゃん。大好きだよ♡



きしおか ゆうあ
岸岡 悠亜ちゃん
1月15日生 花見東

お誕生日おめでとう!パパとママの所に産まれてきてくれて本当にありがとう。悠亜の笑顔はパワーの源です☆元気でますます大きくなってね。



しのはら たいき
篠原 太樹ちゃん
1月16日生 舞の里

2歳のお誕生日おめでとう!これからも、なんでも食べて、よく遊び、よく寝て、元気に育ってね!!



しぶた あやせ
渋田 采世ちゃん
1月17日生 青柳

おじいちゃん、おばあちゃん采世も2歳になったよ♡いつも可愛いがっついてくれてありがとう♡お宮の楠の木さんみたいに大きくなるね!



やまみさか じんだ
山見阪 仁汰ちゃん
1月21日生 青柳

仁くん、3歳のお誕生日おめでとう!歌が好きでおしゃべりも上手になりました!春からはお兄ちゃんと一緒に幼稚園です。楽しみだね☆



むらやま だいご
村山 大悟ちゃん
1月28日生 米多比

お誕生日おめでとう。毎日元気いっぱいの大悟くん!これからも、笑顔で元気な男の子で育ってね♡



「タクシー110番・119番」とは、タクシー運転手が不審者や犯罪、事故などを発見した際、警察と消防への通報と初期救急を行う制度で、花鶴タクシーと古賀タクシー全車に協力をお願いしています。12月16日、特製防犯ステッカーを貼ったタクシーの出発式が行われました。



ご意見や情報をお寄せください

広報こがの記事への感想や掲載してほしい内容など、住所・氏名・連絡先を明記し、下記まで気軽にお寄せください。取材依頼も受け付けています。

〒811-3192 古賀市役所経営企画課
「ご意見募集」係 FAX942局3758番
✉ pr-koho@city.koga.fukuoka.jp



題名「生活座禅で長生き人生のススメ」
著者 日野原重明・朴禧善 著
講談社 刊

あらすじ ●この老人たちはどうしてこんなに元気なんだろう!? 2人合わせて186歳! 50歳から始めても遅くない長寿健康の秘訣。脳を活性化させ記憶力アップ、生活習慣病を寄せつけない1冊です。



題名「かーかん、はあい」
著者 俵万智 著
朝日新聞出版 刊

あらすじ ●シングルマザーとなった歌人が、子どもの成長とともに触れていく本との交流の中で、個性や好み、言葉を覚えていく過程など日々の発見をつづった、朝日新聞夕刊連載中のエッセイ集。子どもを持つ母親が、いつどんな本を選べばよいか、1~3歳児までの育児参考書、読書案内としても楽しめる1冊です。

2月の予定

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

●は休館日です。

ご案内

開館時間…10時~18時
おはなし会
7日(土)、14日(土)、21日(土)
11時~11時30分
赤ちゃんおはなし会(対象0歳児)
2月11日(水・祝) …11時~11時20分
小さい子のおはなし会(対象1~3歳児)
2月18日(水) …11時~11時20分
名画会
2月14日(土) …14時
「キング・コング」(上映時間 100分)
(アメリカ映画)
子ども映画会
次回開催は3月の予定です。



図書館 だより No.370

どなたでも参加OK!

楽しい劇やお話が
いっぱいです!
みに来てね!

第40回 古賀市 親子読書のつどい開催

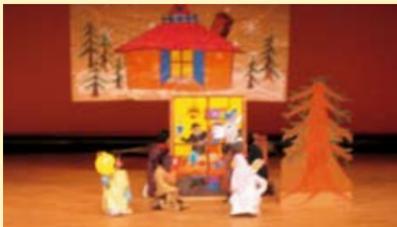
- 市内8つの小学校にある「親子読書会」が
- 親子で読書の楽しさを共有し、心の結びつきを深めるように
- 取り組んだ活動の成果を発表します。
- 楽しい劇やペープサートなどがあります。
- どなたでも参加できるので、友だち同士や家族連れで、ぜひお越しください。



日時 2月7日(土)
10時~12時

場所 市中央公民館大ホール

※昨年の様子



親子読書運動とは▶子どもを中心に、親や家族が良い本をいっしょに読み聞かせたり、語り合ったりしようという運動です。それによって共通の話題が広がり、お互いの理解が深まり、心のかけ橋になります。幼少時によい本をじっくり読むことによって、子どもたちは豊かな知性、落ち着いた人間性をはぐくみます。

あすなる文庫

読書ボランティアとして活躍!

■11月18日・25日・28日の3回にわたり、花鶴小学校1~3年生にお話の楽しさを伝えようとおはなしや手作りの大型紙芝居をしました。あすなる文庫は、花鶴小学校で毎年読書ボランティアとして活動しています。



あすなる文庫▶毎週火曜日15時~17時、花鶴三丁目の公民館で開館しています。

星の子文庫

北筑前養護学校で活躍!

■11月22日、星の子文庫が劇団「星の子」として北筑前養護学校の創立30周年記念で、おはなし会を開催しました。お話で子どもたちに喜んでもらおうと毎年訪問しています。上演が始まると子どもたちは目を輝かせながら見入っていました。



星の子文庫▶毎週金曜日16時~17時30分、舞の里五丁目の5区集会所で開館しています。

休館のお知らせ 2月26日(木)~3月10日(火)は蔵書点検のため休館します。

編集 市立図書館 (☎942局2561番・FAX944局0918番)
ホームページアドレス <http://www.lib-citykoga.org/>

このコーナーは、一生涯学習していこうという生涯学習の考えを基本として、市民の皆さんに情報を提供しています。

リーダー塾生、巣立ちの日

古賀市生涯学習リーダー塾が閉講式

平成20年度古賀市生涯学習リーダー塾が11月21日に閉講しました。今年で6回目の開催となるこの取組は、地域の課題を実践的に解決する活動を通して、コミュニティや地域で率先して活動する人材を育成し、地域の活性化を図ろうと始まりました。これまでの修了生は延べ400人。塾で学んだことを生かし、実践している人も見られるようになりました。

今年の参加者は、「地域づくりリーダーコース(15人、2校区)」と「地域づくり企画・実践コース(17人、8グループ)」に分かれ、組織運営や

具体的活動の企画について全6回の講座で学習しました。最終日の閉講式ではグループ発表が行われ、「このリーダー塾で得たことを地域や校区で生かし、コミュニティを活性化したい」との思いを共有して閉講しました。



▲講義やグループワークなどに熱心に取り組みました。

問い合わせ先 社会教育課
☎942局1347番

●修了生活動紹介●

松原ネット花見

設立 平成16年度
会員 80人
代表 中村孝志さん

花見校区に住むリーダー塾第1期生と第2期生が発起人となり、荒れた松原をきれいにしようと「松原ネット花見」を設立しました。活動は松葉かき(毎月)だけでなく、校区コミュニティ活動へと発展し、今では小学生の見守り活動なども行うようになりました。



●修了生活動紹介●

IVY(アイビー)会

設立 平成18年度
会員 20人
代表 原田弘吉さん

「市を活性化したい」という目的で、リーダー塾第4期の修了生が集まって結成したのがIVY会です。IVY会は地域を越えてさまざまなメンバーで構成されており、平成19年からは市民ゴルフ大会に実行委員会としてかわり、平成20年度には親子農業体験も企画・実施しました。農業体験では約5か月にわたって市内の親子24組(62人)が田植えやかかし作り、稲刈りなどの体験を通して相互の交流を深めました。



歴史資料館 だより



丑年に因んでモオ~▶今年(牛)年です。資料館の入り口に牛を引っ張ってきました。皆さんを待っています。▶牛は大陸から伝わり、数は少なく、弥生時代の遺跡や古墳時代の埴輪にあります。奈良時代には労役に用いられ役畜となります。また貴族の間では、牛乳を飲んだり、煮詰めた酥を薬用にしていました。▶平安時代には貴族の乗り物として牛車(ぎっしゃ)が流行し、運送用は牛車と呼ばれました。菅原道真に結びついた天神信仰では信心の対象となり、臥牛の石造が奉納され、それを撫でて病気平癒などを祈願しました。商家などでは陶製の牛の置物を祀り、商売繁盛、家内安全を祈って撫でたりしました。▶資料館でも牛の置物をいくつか展示しています。ぜひお越しください。

市立歴史資料館 ☎944局6214番 FAX944局6215番 ホームページ <http://www.lib-citykoga.org/>

受講生募集

認知症サポーター 100万人キャラバン事業 古賀市キャラバン・メイト養成研修受講生募集!

■申し込み・問い合わせ先 市地域包括支援センター ☎942局1156番 [電話でお申し込みください]

“キ”ャラバン・メイトとは地域や職域・学校などで認知症サポーターの育成や「認知症サポーター養成講座」の際の講師役を担っていただく人です。

古賀市では、認知症について正しい知識を持ち、認知症の人たちの人権や人格を尊重して、認知症の人や家族を温かく見守り、支援していく認知症サポーターを養成します。

これに先立ち、「古賀市キャラバン・メイト養成研修」を実施します。皆さん、お誘い合わせの上、ぜひ受講してください。

■日時 **3月8日(日)**
9時30分～16時30分(受付9時10分)

■場所 **サンコスモ古賀**
(2階 201・202研修室)

■対象者 (定員70人程度)
以下に該当する人のうち、認知症サポーター養成講座で講師役となる意向がある人

- ①認知症介護指導者養成研修修了者
- ②認知症介護実践リーダー研修
- ③介護相談員
- ④認知症の人と家族の会会員
- ⑤次に準ずると自治体が認めた人

行政職員、介護従事者、医療従事者、民生児童委員、その他(ボランティアなど)

■内容
・認知症の基礎知識、対応について
・認知症サポーターとは
・キャラバン・メイト活動の実際

■費用 無料
■申込期限 2月20日(金)



愛称募集

古賀市地域包括支援センター愛称募集

市地域包括支援センターが、高齢者やその家族、地域にとってより身近な総合相談窓口であることをイメージできるように、親しみやすく分かりやすい愛称を付けてください。最優秀賞に選ばれた作品は、平成21年度から古賀市地域包括支援センターの愛称として使用されます。

- ①愛称(応募作)・②愛称を付けた理由・③氏名(ふりがな)・④年齢・⑤性別・⑥住所・郵便番号・⑦電話番号・⑧職業(学校)・活動団体(学生は、学校名と学年)

■表彰・賞品
採用の1人を表彰し、副賞(介護予防関連グッズ)を贈呈。

■選考・発表
市地域包括支援センター運営協議会で選定します。受賞者には、平成21年3月ごろに直接連絡します。

- その他
- ①応募作は自作のもの、及び未発表のものに限ります。
- ②最優秀賞に選定された応募作の著作権は、古賀市に帰属します。
- ③最優秀賞に選定された応募作は必要により修正する場合があります。
- ④採用作品は広報こがや市公式ホームページで紹介します。

■申し込み・問い合わせ先 市地域包括支援センター
〒811-3116 古賀市庄205 サンコスモ古賀内
電話942局1156番 FAX942局1154番
Eメール houkatu@city.koga.fukuoka.jp

市地域包括支援センターとは?

市地域包括支援センターでは、高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活することができるように、介護に関する相談や心配ごと、悩み以外に健康や福祉、医療や生活に関することなどの相談を受けています。また、高齢者自身だけでなくその家族、近隣に暮らす人からの相談にも応じています。



- 応募資格 古賀市に在住、または通勤・通学している人
- 募集期限 2月27日(金) 17時まで
- ※はがきの場合は当日消印有効
- 応募方法 はがき・FAX・Eメール、または持参
- ※次の必要事項を明記してご応募ください(様式自由)。

受講生募集

この冬、運動を始めよう クロスパルこが、で無料運動教室

ヘルスアップシリーズ⑦



■申し込み・問い合わせ先 健康づくり課 ☎942局1151番

太りにくい体づくりやメタボリックシンドローム予防、高齢期に備えた転倒予防のために、気軽に継続できる運動を見つけ、健康づくりを心がけることがたいせつです。

そこで、今回は運動を始めるきっかけ作りとして無料運動教室を企画しました。ぜひご参加ください。

- 日にち **1月27日(火)**
- 場所 **クロスパルこが**(古賀グリーンパーク内)
- 対象 **20歳以上の古賀市民**
※持病がある人は、かかりつけの医師に相談して受講してください。
- 受付期限 **1月22日(木)**(※定員になり次第締切ります)

運動と栄養を中心とした ダイエットと メタボリックシンドローム 予防教室

メタボを理解し、予防するための食事や運動のポイントを学ぶ教室です。

- 内容 ・講話、体組成測定・運動実習
- Aコース：セラピー運動・初心者エアロビクス
- Bコース：水中運動(有酸素運動)

- 時間 ①午前の部 10時～12時(託児あり)
- ②午後の部 14時～16時

■定員 各15人(計60人)

健康・運動・体力測定と運動を中心とした 健康・体力づくり教室

健康・運動・体力測定を実施し、その個人データを基に個別の運動アドバイスと運動実習を行う教室です。

- 内容
- ・健康・運動・体力測定(血圧、体組成、骨強度、握力、長座体前屈、開眼片足立ち、持久力)
- ・運動実習
- Aコース：マシンジム、ストレッチング
- Bコース：水中運動(午後の部のみ)

- 時間 ①午後の部 14時～16時
- ②夜間の部 19時30分～21時30分

■定員 各10人(計30人)

冬は“太りやすい”って本当?

寒くなると、体は自然と寒暖の差に適応しようとし、エネルギーを燃やして体温を保とうとします。一方、普段からあまり運動をしていない人の体は「脂肪」を蓄えて体を冷やさないようにします。つまり、筋肉の量が少ない人にとって、冬は脂肪がつきやすい季節なのです。同じ体重でも筋肉の量が多い方が太りにくく、健康な生活ができます。



▲古賀市健康文化施設クロスパルこが マシンジムやスタジオなどの最新設備のほか、プールや温浴施設も備える。
☎940局1211番 営業時間 月・水～金/10時～23時、土/10時～21時、日・祝/10時～19時 休館日/毎週火曜日

ふるさと森づくり参加者募集

今年で8年目を迎える「古賀市10万本ふるさと森づくり」に、あなたも参加してみませんか？

おにぎりや温かい豚汁を無料で提供します。また、市の特産品と電化製品が当たる福引きも行います。

- 日時 3月7日(土) 9時30分～13時(受付9時)
- 雨天決行
- 場所 古賀グリーンパーク
- 対象 一般市民及び希望者(小学生以下は保護者同伴)
- 持参品 豚汁用の器と箸

- 申し込み ①参加者全員の氏名、②年齢、③連絡先電話番号を明記して、電話・FAX・市公式ホームページからお申し込みください。
- 事前申込なしでも参加できますが、団体の場合は、なるべく2月27日(金)までに申し込んでください。
- 10人以上で参加した団体は後日設置する記念看板に団体名を入れることができます。事前申込時、または当日受付時に団体名をお知らせください。
- 申し込み・問い合わせ先 経営企画課 ☎942局1113番 FAX942局3758番

不要な入れ歯ありませんか？

不要になった入れ歯を回収・リサイクルすることで、世界中の恵まれない子どもたちを支援できます。

- この取組は日本入れ歯リサイクル協会が行っているもので、(財)日本ユニセフ協会を通して寄附されます。
- 市社会福祉協議会でも不要入れ歯回収・寄附事業を開始しますので、ぜひご協力ください。
- 事業開始 2月1日(日)
- 回収ボックス設置場所 市役所及びサンコスモ古賀市社会福祉協議会
- 問い合わせ先 ☎944局2941番

今月の環境ポイント

電化製品は使っていないときも少しずつですが電気を消費しています。これらの待機時消費電力を合わせると、家庭の全消費電力量の約1割にもなります。使っていない家電は主電源を切ったり、コンセントからプラグを抜くことで省エネになります。スイッチ付きタップがあると便利です。



環境課 ☎942局1127番

- 甲種・乙種防火管理者資格付与講習会 一定の人員を収容できる店舗・病院などの管理権限者は、消防法により「防火管理者」を定めなければなりません。この講習を受講することで、消防法に基づく甲種・乙種防火管理者の資格が取得できます。
- 講習日程 ①甲種・乙種防火講習 2月9日(月)～10日(火) 9時30分～11時30分 13時～15時 ②福岡ビル9階大ホール(福岡市中央区) 2月2日(月)～3月16日(月) 9時30分～15時30分 ※土・日、祝日は除く

乙種防火管理講習

- 2月12日(木)
- 甲種防火管理新規講習 2月12日(木)・13日(金)の2日間 ※いずれも9時～17時
- 講習場所 柏屋北部消防本部講堂
- 受講料 5,000円(テキスト代込み)
- 申込方法 申込用紙に写真2枚を添えて、柏屋北部消防本部へお申し込みください。
- 申込用紙配布場所 柏屋北部消防本部・新宮分署
- ※消防本部ホームページからもダウンロードできます。
- 申込期限 2月6日(金) 定員 40人(先着順)

申し込み・問い合わせ先

- 柏屋北部消防本部予防課 ☎944局0021番

主な会場・開設日時

- 古賀市役所大会議室 2月9日(月)～10日(火) 9時30分～11時30分 13時～15時
- 福岡ビル9階大ホール(福岡市中央区) 2月2日(月)～3月16日(月) 9時30分～15時30分 ※土・日、祝日は除く

組合連合会長賞

- ら3人が表彰されました。
- 糟屋地区市町長協議会賞 高田良平さん(古賀北中学校3年)
- 香椎税務署管内納税貯蓄 横大路裕香さん(古賀東中学校3年)

- 税金の還付は「集中還付申告センター」へ 住宅ローンなどを利用して自宅を建てたり増改築をした場合、一定の要件に該当すれば確定申告の特別控除を受けることができます。これらの相談は、次の還付申告センターへお越しください。
- ただし、所得税の還付申告のため、事業を営んでいる人、不動産所得や譲渡所得がある人などの相談は受け付けていませんので、税務署までお願いします。

- 受賞おめでとう 国税庁と全国納税貯蓄組合連合会が、共同で全国の中学生から「税についての作文」を募集したところ、市か

- 甲種・乙種防火管理者資格付与講習会 一定の人員を収容できる店舗・病院などの管理権限者は、消防法により「防火管理者」を定めなければなりません。この講習を受講することで、消防法に基づく甲種・乙種防火管理者の資格が取得できます。
- 講習日程 ①甲種・乙種防火講習 2月9日(月)～10日(火) 9時30分～11時30分 13時～15時 ②福岡ビル9階大ホール(福岡市中央区) 2月2日(月)～3月16日(月) 9時30分～15時30分 ※土・日、祝日は除く

今月のこどけんカルタ No.10

「あれしなさい そればかりで いやになる」
 すべての子どもたちは大人からいつも幸せが一番を考えてもらう権利を持っています。そのため、大人は子どもにとって、最も良いことは何かを第一に考えなければなりません。
 【第3条～子どもにとって一番いいことを～】

子ども政策課 ☎942局1157番



モラルを問う

後を絶たない迷惑110番

県内すべての110番通報が集まる県警本部通信司令室。そこには56秒に1回の割合で通報が寄せられます。今年10月までの通報総数はおよそ48,000件、しかしその内訳を見ると約20%をいたずら電話が占めています。



「ハイパー鬼ごっこ」とは、携帯電話で通報して警察が駆けつけるギリギリで逃げるという悪質ないたずらのこと。このほか無言電話、警察官見たさでの虚報など、いたずら電話は後を絶ちません。警察官は通報を受けてから1秒でも早く現場に駆けつけられるよう努力していますが、虚報の現場に時間をとられ、別の場所で起こった事件の犯人を取り逃がすこともあり得ます。

INTERVIEW

柏屋警察署 久松 清一 警部 (地域第二課長)

110番は地域の安全を支えるためのたいせつな回線ですので、正しく使ってください。緊急を要する際は迷わず早急に110番へ、相談や要望は#9110におかけください。

▶泥棒、けんか、交通事故、暴力団などの事件・事故の被害などのとき 110番へ

▶警察に対する要望・意見、緊急性のない照会、困ったときの相談 #9110(ブッシュ式電話) または 641局9110番へ(ダイヤル式電話)

点描 編集後記

だったでしょうか。●先月号までの「広報こが」のロゴマークが誕生したのは2001年4月。以来、8年8か月にわたって親しまれていました。今度のロゴマークも、長く愛されることを願っています。●内容も、モラルを問うコーナーや市公式ホームページとの連動企画などを留意して一新。特集記事や皆さんからの投稿コーナーも増やして、古賀市民全員で作上げる広報紙を目指します。応援よろしくお祈いします。(村上)

ひとのデータ ()は前年比

人口	57,984人 (+338)
男性	27,965人 (+169)
女性	30,019人 (+169)
世帯数	22,280世帯 (+457)
出生	49人 転入148人
死亡	38人 転出221人

データ●2008年11月30日現在

わがまち、もつと住み良く

1月から参加受付

古賀市アダプトプログラム、始動します

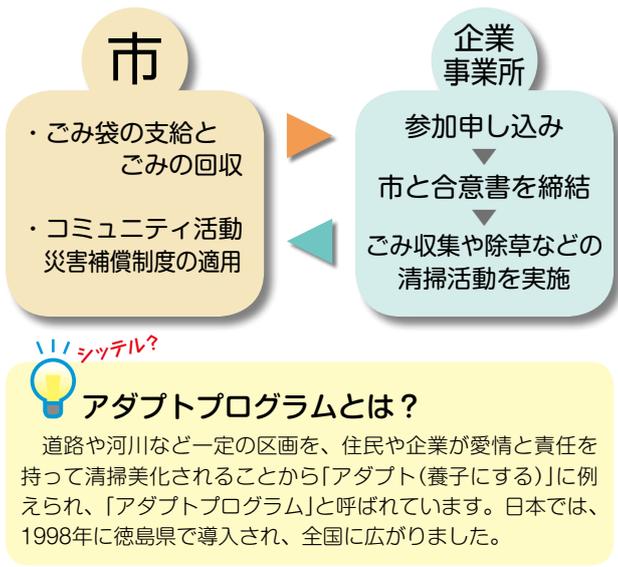
古賀市アダプトプログラムとは、「地域貢献したい」という意思を持つ企業や事業所が、きめ細かな美化活動を行う制度です。市では今年1月から参加企業の受付を始めます。

より多くの企業・事業所の皆さんに参加していただき、快適な道づくり、住みたいまちづくりを進めましょう。

私たちが暮らす古賀市を「日本一住みたいまち」にするためには、皆さん一人ひとりの力がが必要です。

そのため、地域コミュニティの活性化など、さまざまな取組を始めるところ、多くの人の積極的な協力が随所に見られるようになりました。

また、企業や事業所からも「地域貢献したい」という声が聞こえてきます。市では、個人でも企業や事業所でも、それぞれの形で地域参加するためのお手伝いを続けていきます。



市役所前の街路を清掃する中村市長と市役所職員。

古賀市 コミュニティシンポジウムでヒントを掴もう

シンポジウムに参加して、さまざまな事例から「コミュニティ活動を学んでみませんか?」話題の「コミュニティビジネス」の可能性も探ります。

日時 1月31日(土) 10時~12時(受付9時30分)

場所 市中央公民館 大会議室

講師 藤原 典明さん(地域活性化プロフェッサー) ~住民共働のまちづくり~

問い合わせ先 市民共働課 ☎942局1260番 ✉s-kyodo@city.koga.fukuoka.jp

チャレンジ!! 料理道場

健康のため、食の安全のため、手作りクッキングをはじめてみませんか。季節や地元の食材を使って、子どもにも簡単に作れる料理やお菓子を毎月紹介いたします。

●詳しい作り方や栄養アドバイスなどをホームページで紹介しています。

インターネットに接続可能な携帯電話からもご覧いただけるホームページを開発しました

携帯電話用アドレス
http://www.city.koga.fukuoka.jp/m/
※一部の携帯電話ではご利用できないことがあります。

QRコード対応のカメラ付き携帯電話で右のコードを読み取ると、古賀市の携帯電話向けホームページへ素早くアクセスできます。

古賀市公式ホームページQRコード

冬野菜のポトフ*019



冬野菜のポトフ◎材料(2人分)

スベアリブ 4切れくらい かぶ 小1玉
にんじん 小1本 じゃがいも 2個
小たまねぎ 2個 ブロccoli 2分の1束
ソーセージ 4本 コンソメ(固形) 3個 水 5カップ
粗挽きこしょう 少々 塩 少々 ローリエ 1枚

1.スベアリブはゆでこぼし、表面の血や汚れを軽く水で洗い流しておく。

2.にんじんは乱切り、じゃがいもは4等分、かぶ・ポトフは適当な大きさに切り、玉ねぎは皮をむいておく。ブロッコリーは下ゆでする。

3.鍋に水・コンソメを入れ

て火にかけ、かぶ・ブロッコリー以外の材料とローリエを加えて弱火でコトコト1時間ほど煮込む(かぶは出来上りの15分前に鍋に入れ、ブロッコリーは彩りとして仕上げに飾る)。最後に塩と粗挽きこしょうで味を整える。

*余ったポトフを使ってアレンジ料理
【カレー】市販のカレールーに必要な水の分量を、水とポトフのスープを1:1にして作る(例えば500mlの水が必要な場合、水250ml、ポトフのスープ250mlを使用)。その中にポトフの煮込んだ野菜、肉を入れて火にかけ、ルーを溶かせばあっという間においしいカレーの出来上がり。味が濃い場合は水の量を調整してください。